

研 究 者	所属学系 社会・歴史 氏 名 村 上 雄 一
研 究 課 題	19世紀から20世紀初頭の豪州における白人性の形成と日本（人）に関する基盤的研究
成 果 の 概 要	<p>本研究の具体的な目的は、主に19世紀後半から20世紀初頭のオーストラリアにおける日本（人）イメージがアングロ・ケルト系オーストラリア人のホワイトネス形成に重大な与えた影響を与えた、オーストラリア史を代表する政治家であるアルフレッド・ディーキン（Alfred Deakin, 1856-1919）を軸に考察し、基礎的な白人研究および日豪関係史の一端を担うことである。</p> <p>奨励的研究費の交付期間内に以下の3点に関する基礎的な文献・史料を収集した。</p> <p>①1870年代に設立される「オーストラリア出生者協会」（Australian Natives' Association、以下 ANA と略記）と1880年代からヴィクトリア植民地を中心に本格的に政治活動を始めるディーキンとの関係を、特に、反有色人移民運動と連邦結成運動の視点から考察し、それが日本（人）イメージの形成に与えた影響の解明</p> <p>②オーストラリア連邦成立から1900年代におけるドミナントなアングロ・ケルト系オーストラリア人集団における日本（人）イメージの形成、並びに、同集団のホワイトネス形成にディーキンが与えた影響の解明</p> <p>③それらに依拠した形でディーキンが1900年代のオーストラリアの国防や外交政策に与えた影響について解明</p> <p>なお、この奨励的研究費交付決定後、同じ研究テーマで申請して一度は採択が見送られた科学研究費補助金基盤研究(C)において、追加採択されることが決まり、今後もこの研究を継続できることとなった。この奨励的研究費で収集した文献や史料も活用しながら、さらに本研究を深めていく予定である。</p>